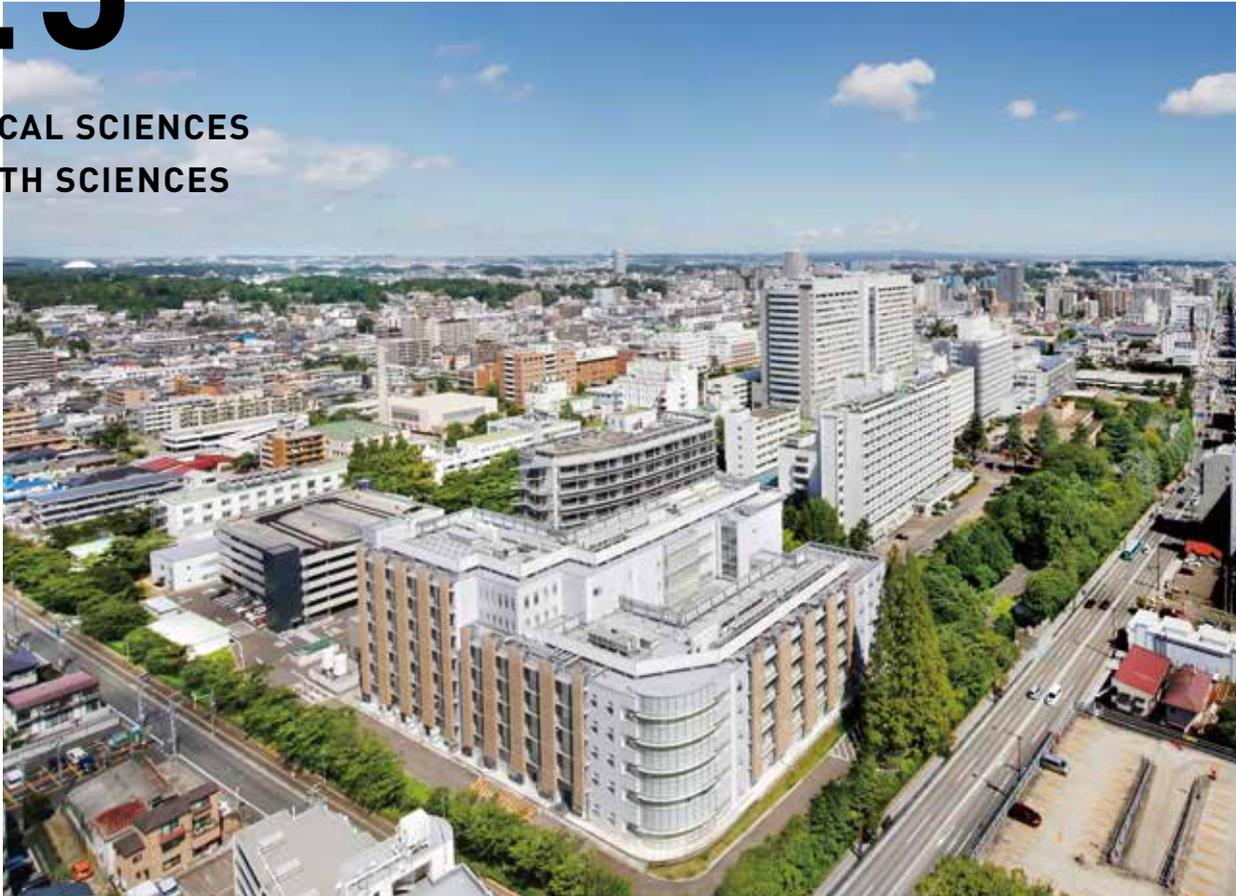




TOHOKU UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE 2025

SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES
SCHOOL OF HEALTH SCIENCES



東北大学医学部 2025
医学科 — 保健学科

医学という学問を学ぶ

東北大学医学部は1872年に「宮城県立医学所」として設立され今年で152周年を迎えます。また、国立大学医学部としては1915年に東北帝国大学医科大学の設立から109周年となります。本医学部はこの100年を越える歴史の中で、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の3つの建学理念のもとに、優れた医学研究者を数多く輩出し、いくつもの大きな研究成果を世に送り出してきました。

建学理念について説明すると、「研究第一」：研究を第一の使命とし医学部では100以上の研究室で最先端の医学研究を推進しています。「門戸開放」：戦前の大学で唯一、女性や師範学校卒業生を受け入れたことはダイバーシティ重視の先駆けとして高く評価され、そしてなお、分け隔てない医療を提供することを使命としています。「実学尊重」：人類、社会に貢献できる研究成果を創出すると同時に100年以上にわたって北日本の地域医療に貢献しています。この3つの理念に則って教育研究と地域医療を最高レベ

ルで両立していることが本医学部の最大の特徴です。

皆さんは高校までの学習で多くの知識を学び、その知識をたくさんの試験で評価されてきたことでしょう。しかし、皆さんが学んだ知識というのは過去に既に明らかにされた事実であり、知識の習得は学問ではありません。学問とは正解が存在するかもわからない未知なるものを探究し新たな知見を獲得するために行う科学的な営みです。そして医学という学問は、人体の正常や異常の仕組みを解明し法則を発見することで人類の健康を保障し、疾患の予防、診断、治療の方法を見出すことを目的とした科学研究です。

東北大学は国際研究卓越大学の唯一の採択候補として、国際的に真に卓越した研究大学になろうとしています。公式に採択されれば国から多額の支援を受けることで、世界トップレベルの研究大学となることが期待されます。このような東北大学医学部で医学を学び次世代の医療・医学研究のリーダーを目指してみませんか。

東北大学大学院医学系研究科長・医学部長
石井 直人 Ishii, Naoto

Profile

1989年 東北大学医学部卒業
1989年 東北大学附属抗酸菌病研究所小児科学教室入局
1995年 東北大学医学部細菌学教室助手
2003年 東北大学大学院医学系研究科免疫学分野准教授
2009年 同 教授
2023年 東北大学大学院医学系研究科長、
医学部長に就任、現在に至る



沿革

医学部医学科

- 1817年(文化14年) 仙台藩が藩の学問所「養賢堂」から「仙台藩医学校」を独立させ、同時に施薬所(現在の東北大学病院に相当)を設ける
- 1872年(明治5年) 宮城県立医学所に改組され、医学部同窓会(良陵同窓会)が同年を創立の年と定める
- 1907年(明治40年) 東京、京都に次ぐ第3番目の帝国大学として東北帝国大学が設立
- 1915年(大正4年) 文部省令第10号により帝国大学医科大学として設置
- 1949年(昭和24年) 東北大学が国立学校設置法により新制大学となる
- 2015年(平成27年) 東北大学医学部開設から100周年



往診医携帯小道具



タイガー計算機



解体新書



Torsion Balance

医学部保健学科

- 1913年(大正2年) 4月、附属医院看護婦養成所(県立宮城病院看護婦養成所を移管)を設立
- 1915年(大正4年) 医科大学開設に合わせ、医科大学附属医院看護婦養成所に改名
- 1919年(大正8年) 医学部附属医院産婆養成所が開設
- 1945年(昭和20年) 附属医院厚生女学部の設置
- 1951年(昭和27年) 医学部附属看護学校・医学部附属助産婦学校を設置
- 1953年(昭和28年) 医学部附属診療エックス線技師学校を設置
- 1962年(昭和37年) 医学部附属衛生検査技師学校を設置
- 1973年(昭和48年) 上記を医療短期大学部として統合
- 2003年(平成15年) 医学部保健学科を設置

北斗七星になぞらえて



ロゴマーク

東北大学設立の直接の基礎となった東北帝国大学は、東京、京都に次ぐ第3番目の帝国大学として明治40年(1907年)に創立された。この時の開学の祝賀歌は、この大学を天の中枢を指す北斗の姿になぞらえて、東北の光と讃えている。すなわち、北斗七星には、北極星の様な不動の真理を求め、さらに広く世人の道しるべとなろうとする本学の理念が象徴されている。

詳しくはこちら



INDEX

医学科 School of Medical Sciences > P03

最先端医療・医学研究を体験し、グローバル社会で自立する明日の医学を担う人材の育成を目指します

- カリキュラム・ポリシー > P05
- 学びの流れ > P06
- 留学 > P09

保健学科 School of Health Sciences > P13

- カリキュラム・ポリシー > P15
- 進路 > P21

【看護学専攻】 > P16

‘ケア’の本質を追究する看護学の学習を深めます

【放射線技術科学専攻】 > P17

安全・正確・高精度な放射線技術へ可能性は広がり続けます

【検査技術科学専攻】 > P18

病気の原因・治療方法を判断するための先端技術を学びます

医学部 医学科

School of Medical Sciences

世界トップレベルの環境で
最先端医療・医学研究を体験し、
グローバル社会で自立する
明日の医学を担う
人材の育成を目指します。



医学科長
高瀬 圭
Takase, Kei

◆教育理念

東北大学医学部医学科は、教員と学生相互の協調により強固な教育基盤を構築し、医学・生命科学の根元を解明する研究および教育を実践し、豊かな人間性と旺盛な探求心を育み、人類の健康と福祉に貢献する指導的高度専門職業人を育成する。

◆教育目標

東北大学医学部医学科の学生は、将来、医学・医療の様々な領域において指導力ある医師・研究者となるために、6年間の医学部教育において6つの教育目標を達成する。

① プロフェッショナリズム

医師としての基本的な素養と習慣、倫理観を身につける。

② 医学知識

医学の根幹となる基礎医学・臨床医学の理解を深め、それらを統合し応用する能力を身につける。

③ コミュニケーション

医師としての基本的な対人関係能力を身につける。

④ 診療技能

患者情報の収集と病態の推論・判断・対応を適切に行うために、臨床技能と医療安全の基本を身につける。

⑤ 科学的探究

医学における未解決問題を見出し、科学的理論と方法により解決に取り組む能力を身につける。

⑥ 地域と世界における医療

地域・国・世界の医療を俯瞰し、健康・疾病の動向と保健医療システムを理解する。

知を楽しみ、医学・医療の礎に

医学の急速な進歩の中で、優れた医療と創造的医学研究を行っていくには、幅広い好奇心と飽くなき探求心を持って、学びを楽しみ、意欲を持ちつづけることが必要です。これは、医学研究を行う場合のみではなく、臨床の第一線に身を置いている期間においても、最も基本的で大切なことです。基礎医学を学ぶと、意外に早い段階で「未だ分かっていないこと」があることを認識し、臨床に触れると、現在の「医療の限界」を感じることでしょう。医学が進歩すればするほど、その先の「未知」や「解

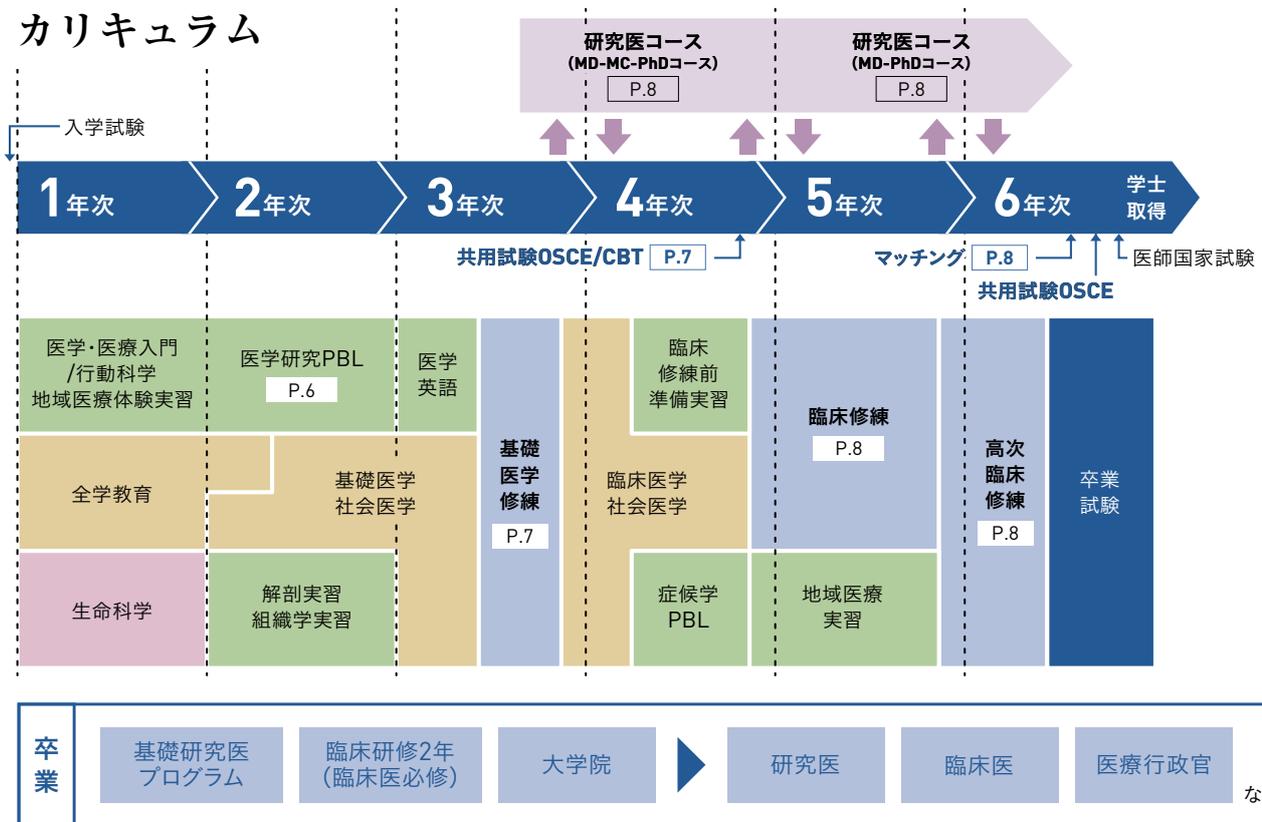
決すべき問題」は増えていくようにすら見えます。誰も気づかなかった現象や原理を発見する機会は医学研究の其処此処にあり、また、臨床を知るほどに新しい治療法を開発する使命感が湧いてきます。

医学科での6年間を通じて、全人的医療のための幅広い教養と実践的医学を学ぶとともに、知の楽しみ方を身につけ、真理を探究する心を涵養し、我が国の医療、医学研究、さらには科学的発展の礎となっただけことを望みます。

医学部医学科のカリキュラム・ポリシー (抜粋)

- 1 1、2年次は全学教育科目として幅広い一般教養科目と専門教育に活用可能な科目を提供する。1年次より専門教育科目を開始し、医療人、医学研究者として必要な基本的知識・技能・態度を6年間で段階的に修得させる。
- 2 研究第一の理念に則り、長期に亘り研究に従事し成果を発表する期間を設ける。医学研究PBL、基礎医学修練、高次臨床修練によって、医療リーダーや医学研究者として必要な能動学習・自己研鑽の技能と態度の涵養をはかる。
- 3 学習成果の適正な評価と個別フィードバックを行い、学習者の内省・自己啓発と能力開発を促進する。

カリキュラム



TOHOKU UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE 2025

医学部医学科のディプロマ・ポリシー

- 1 生命現象、人体構造並びに様々な疾患について、分子レベルから細胞・組織・器官・個体レベル、さらに地域・社会・国際レベルに及ぶ国際標準の知識を有している。未解明の事象に挑み創造的研究を行って先端領域を切り開き、成果を世界に発信する能力を有している。
- 2 優れた倫理観と暖かい人間性を備え、科学的根拠に基づく医療を実践する基本的能力を習得している。地域に密着して医療を実践するとともに、国際社会に医療貢献する能力を有している。
- 3 医療の実践と医学の研究を通して、我が国の医学研究、教育、医療を支えると共に、ワールドクラスの研究の推進、新しい学問の創造、人類への貢献を担う能力を有している。多職種間の連携・協調、学際的研究交流等を円滑に行うコミュニケーション能力とチームを率いるリーダーシップの素養を有している。

1年次

全学教育科目の開始

1年次は全学教育で幅広い教養を身につけるとともに、専門教育の基礎となる3科目類から構成される科目も履修します。全学教育科目には「生命科学」の講義もあり、必修科目として医師として必要な人体の生物学を学びます。

Pick Up Curriculum

研究室訪問

新生生には、入学後間もない5月～6月に、研究室を訪問し研究テーマなどを取材する機会を用意しています。続いて、7月までに医学研究に不可欠な遺伝子組換えや実験動物の取扱に関する講習を全員が受講し、様々な研究に参加する準備が整います。これをきっかけに研究室に通い始め、研究に着手する1年生もいます。



医学専門教育科目の開始

1年次の専門教育科目として「医学・医療入門/行動科学」があります。これは複数のテーマからなるグループ学習・実習・講義で、1年間続きます。例えば少人数ワークショップでは、医師として必要な職業倫理、患者の権利や利益に関する基本原則などを自ら考え、グループ内、グループ間で議論します。早期医療体験実習では、血圧測定、心肺蘇生法、車椅子介助や高齢者介護の基本スキルを身につけた後に医療・介護施設を訪問し、実際の現場を体験します。また東北大学病院内では様々な職種のスタッフが医療に深く関わっていることを見聞き、チーム医療の重要性を認識します。医療コミュニケーション実習では、いくつかのテーマで模擬患者さんを対象として医療面接のトレーニングを行います。また、希望者には東日本大震災の被災地の現状を視察する実習も行われます。後期からは、基礎科目の中の「解剖学・生理学序説」、「医化学」、「免疫学」、「放射線基礎医学」、「遺伝学」が始まります。

2年次

解剖実習の開始

約3カ月にわたり、解剖実習が行われます。解剖実習は単に人体の肉眼的構造を知識として習得するだけではなく、献体された方々と献体に深い理解をくださったご遺族に対する感謝の気持ちや、社会の人々の期待に応える自覚を持つことによって、将来医師に進む上での大きな精神的教育にもなります。

また1年次から続く専門科目として「生理学」「組織学」「発生学」「薬理学」「病理学」「微生物学」が始まります。またこの学年では「医学研究PBL」が行われます。PBLとはproblem-based learning(問題解決型学習)の略で、医学のさまざまな最先端のテーマについて、自ら問題点と学習項目を発見し、グループによる討論・発表を行います。

Pick Up Curriculum

医学研究PBL

学生はいくつかの先進的な医学研究に関するテーマから最も興味を持ったものを選び、初めに教員によるミニレクチャーを聴講します。その後、少人数のグループで課題を抽出して仮説を立て、その仮説を検証するために必要な情報を自ら収集し、最後に発表と討論に臨みます。これらの過程を通して、学生は将来、医学研究を実践するために必要な探究心、問題抽出能力、柔軟な思考を涵養します。

3年次

基礎医学修練の実施(研究室配属)

3年次には、社会医学系専門科目として「公衆衛生学」「衛生学」「法医学」に加え「医の倫理学・社会学」が始まります。また4月から「医学専門英語」としてE-learningと医学英会話のグループ学習を行います。

夏休み明けには、「研究第一」を建学理念とする東北大学の特徴である、「基礎医学修練」が行われます。各基礎系・社会医学系分野および基礎研究も実施している一部の臨床系分野に、学生が研究者として所属し、そこで20週にわたって研究を行うというものです。中には海外の研究機関で基礎医学修練を行う学生(25名程度)もいます。そして最後にその成果を口頭あるいはポスターを用い、学会形式で報告・討論を行います。なお、冬期休暇が明けた後、臨床系専門科目の講義が始まります。



Pick Up Curriculum

基礎医学修練

複数の医学部でも学生の基礎系分野配属は行われています。しかし、本医学科で行われている修練は他大学にはない、特記すべき点があげられます。即ち、1)修練期間中は月曜から金曜まで、2)その間は朝から夕方まで、フルタイムであること。3)配属分野は学生の希望をできるだけ優先し、4)最大でも各分野4-5名程度の少人数教育であること。5)分野によっては、ある期間、海外での修練も可能であり(毎年25名近くが海外研修を体験)、6)一部の成績優秀な学生には奨学金によるサポートがあること。7)多くの学生が研究成果を発表しますが、その運営は学生主体であり、8)発表者の中から優秀者の表彰があることです。

4年次

臨床系専門教育

この学年では、臨床実習を開始するために必要な臨床に関する医学的知識を習得するだけでなく、臨床的な技能と態度を身につけます。臨床分野は多数の診療科に分かれています。しかし人の病気は一つの診療科だけに限られるわけではありません。また、病気の徴候は人によって様々であり、それぞれの専門性だけに頼ると、診断や治療の遅れにもなりかねません。そこで本医学科ではつながりの深い複数の診療科をとりまとめ、それぞれのブロック別に講義と試験とを実施します。4年生は全てのブロックの試験に合格した後、改めて2種類の全国医学部共通の試験(共用試験)を受け、この合格をもって、「Student Doctor(学生医)」が付与され、次の臨床実習に進むことになります。



Pick Up Curriculum

臨床修練前準備実習

全国医学部共通の試験(共用試験)では医学的知識を問うCBT(Computer-based testing)の他に、実際の臨床技能と態度を測る客観的臨床能力試験OSCE(Objective structured clinical examination)が行われます。従前の医学教育は医学知識重視型でしたが、現在では医学生のうちから医療面接や身体診察などの基本的な臨床技能と態度の習得が重要視されています。そこで本医学科では臨床修練がスタートする前に、8-9名のグループに分かれ、ローテーション形式の実習で、臨床実習に参加するために必要とされる技能と態度をしっかりと習得します。

5年次

Student doctorとして診療に参加

4年次後半から臨床修練(臨床実習)が開始され、以後の4年次と5年次は臨床修練に費やされます。この期間、多くの診療科(一部は選択)をローテートします。大学病院では、一つの診療科は複数の医療チームから構成されていることが多いのですが、原則、その一つに所属し、患者さんの診察、指導医へのプレゼンテーション、診断・治療方針に関してのディスカッションを通じ、診療参加型臨床実習を行います。診療科によっては、地域の病院への派遣も行われます。なお、カリキュラム外の企画として、東北大学と関連の深い病院が多数参加する臨床研修病院説明会が、主として5年次と6年次の学生を対象として開催されます。

6年次

高次臨床修練で研鑽

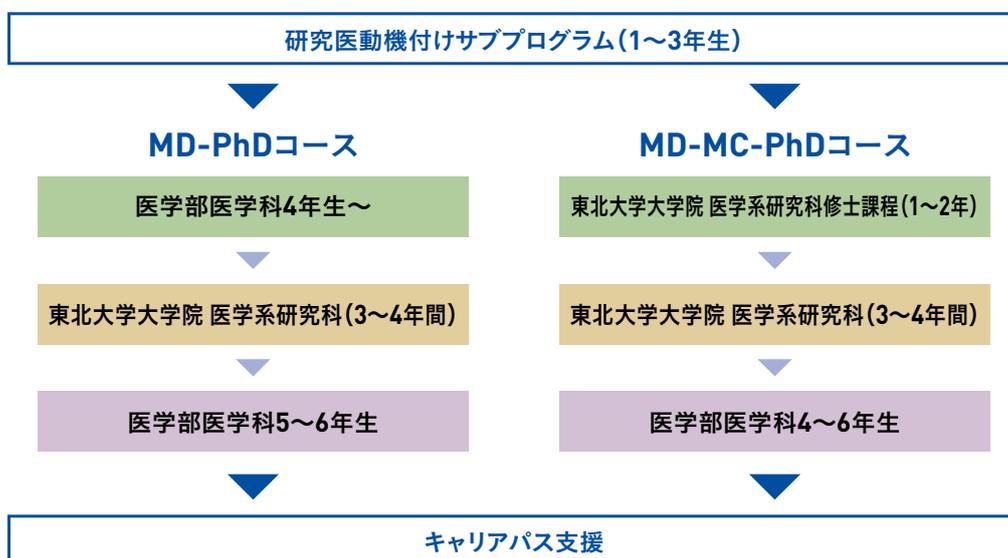
医学科6年生は希望する診療科に4週間単位で配属になります。学生は各科の医療チームの一員となって診療に従事します。また、交換留学制度等により海外の大学・医療機関での実習も可能です。多くの医学生は、今後進みたい診療科を念頭に入れて選択することが多いようです。なお、この高次臨床修練の期間の間に臨床研修マッチング登録を行い、最終的な研修病院先は秋に決定されます。6年次後半は、卒業試験を経て医師国家試験への準備期間となります。卒業試験では共用試験臨床実習後OSCEも行います。



研究医養成の取り組み

研究医養成プログラム

東北大学では、医療の発展に寄与するため研究医を養成すべく、研究医養成プログラムを実施しています。東北大学大学院医学系研究科では、「研究医養成プログラム」にもとづき、医学研究を志向する医学部医学科学生に対し、早期に研究を進展させる機会を与えることによって、医学・医療の急速な進歩と社会情勢の変化に対応できる若手研究者を養成することを目的とした研究医コース(MD-PhDコース)と、基礎医学修練から切れ目なく継続的に研究を進展でき、海外留学中での受験や長期間の海外での研究が可能な研究医コース(MD-MC-PhDコース)を設定しています。



留学

学生の学習や研究の可能性を広げる場をつくります。

国際化推進と英語コミュニケーション能力の開発

医学科では教育目標として6つの領域を定め、その中に「コミュニケーション」と「地域と世界における医療」が含まれます。具体的な到達目標（アウトカム）としては、「英語で医学・医療に関するコミュニケーションができる」、「地域から世界規模までの疾病の動向を説明できる」等を掲げています。

このアウトカムを達成するため、6年間のカリキュラムに、英語コミュニケーション能力開発プログラムと海外留学

の機会が設けられています。3年生の4月から行う医学英語の授業では、外国人講師による少人数グループ英会話と、医療英語専用のe-Learningソフトを用いて、国際人としての英語コミュニケーション能力を高めます。英語で患者さんを診察するトレーニングと能力評価の実技試験も組まれています。3年生の夏に始まる研究室配属では、例年25人前後が北米、アジア、ヨーロッパ、オーストラリアなどに留学します。トップレベルのラボで最長で5か月

留学参加レポート

留学先 スウェーデン・カロリンスカ研究所 

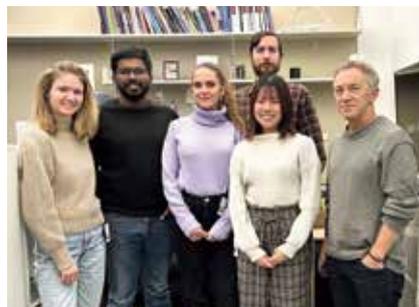
参加期間 2023年9月1日～12月15日

医学科4年 中村 彩水さん

[栃木県立宇都宮東高等学校出身]



私は3年次の基礎医学修練の3ヶ月半、スウェーデン・カロリンスカ研究所で小児のソーシャルメディアの使用時間と脳活動の関係について大規模データを用いた研究を行いました。小児の脳活動に関する大規模なデータは日本にはないため、非常に貴重な経験になりました。研究室では自分の研究だけでなく、同じ分野の研究者のセミナーに参加し、想像もしなかった研究の手法やテーマに刺激を受けたり、同じ研究室の方の研究テーマについて議論したりと研究所ならではのハイレベルな環境で過ごすことができました。また、スウェーデンはジェンダーギャップ指数ランキング5位(2023年度)の国としても有名ですが、育休制度から男女共用のトイレまで、125位の日本との違いを日常のあらゆるところで感じ、男女平等な社会について考える機会にもなりました。休日にホストファミリーとシナモンロールを作ったり、サウナから凍った湖に飛び込んだり、シカを丸々一頭捌いたりした体験は今でも鮮明に覚えています。初めての海外生活は大変でしたが、研究だけでなく、文化の違いや今後の進路と働き方について考えたり、様々な方々と出会ったりと、この留学で得た経験・繋がりは一生の宝物です。



主な留学先	 アメリカ 国立衛生研究所(NIH) ヴァンダービルド大学 カリフォルニア大学サンフランシスコ校 サンフォードバーナムプレビス医学研究所 サンフランシスコ総合病院 ジョーンズ・ホプキンス大学	ハーバード大学 ハワイ大学 マサチューセッツ総合病院 ミシガン大学 メイヨークリニック イェール大学 スタンフォード大学	 イギリス エクセター大学 リーズ大学 サウサンプトン大学 バース大学		
	 オーストラリア グリフィス大学 西オーストラリア大学 メルボルン大学	 タイ タマサート大学 チェンマイ大学 マヒドン大学	 フィリピン サンラザロ病院 熱帯医学研究所(RITM)	 ネパール カトマンズ医科大学	 スイス チューリッヒ大学
			 台湾 台北医学大学	 ノルウェー ベルゲン大学	
			 シンガポール シンガポール国立大学	 スウェーデン カロリンスカ医科大学	

に亘って最先端の研究に打ち込み、帰国後は「海外研究留学発表会」を行い、成果を報告します。この発表会は、国際学会を模して英語で発表・討論を行い、1年生も聴講して2年後の留学を考える機会としています。また、優れた成果を上げ、研究成果を国際学会で発表したり論文に発表する学生も少なくありません。

6年生で24週間行われる高次臨床修練では、同じく25人前後が4週間海外留学し、現地の医学生とともに臨床実習を行います。疾患や医療制度の異なる海外で異文化に接しながら行う実習は、とても有意義な経験です。留学から戻った6年生は、秋に4年生対象の「高次臨床修練海外実習報告会」を開催して、後輩に体験を伝えます。

留学先 アメリカ・マサチューセッツ総合病院 
参加期間 2023年8月16日～2024年1月18日

医学科4年 鴛田 康樹さん
 [高等学校卒業程度認定試験・大学入学]



私は基礎医学修練期間の約6ヶ月間、米国ボストンのハーバード大学の関連医療機関であるマサチューセッツ総合病院の研究施設へ留学し、膵臓癌をテーマに基礎研究の研修をさせていただきました。研究室では、各々の研究者が独自の研究テーマに取り組み、昼夜問わず実験に没頭する日々を過ごす一方で、長期休暇には家族との旅行を楽しむなど、日本とは異なった多様なライフスタイルを目の当たりにしました。また、自身の研究チームでの毎週のミーティングのみならず、他のチームや研究室・病院が主催する講演への参加などを通し、最先端の研究を経験することができました。

その他研究室外では、研究室のメンバーと車で数十時間かけカナダへ旅行に出掛けたり、親しくしていた現地の医学生と季節のイベントに参加したりなど、海外留学ならではの貴重な体験をすることができました。さらに同施設には日本人研究者も多く、その方々との研究室内外での交流の他、ボストンで行われている学会や病院での手術見学の機会などもいただく事ができました。

半年という長期間に加え、言語や文化の違いなどの不安も沢山ありましたが、思い切って海外へ飛び込む選択ができ良かったという充実感とともに、より成長した姿でまた戻ることができればという意欲を帰国の際に切に感じたことを、今でも鮮明に覚えています。

V o i c e

学生の声



医学科5年

北山 智沙子さん

【金沢大学附属高等学校出身】

仙台の街の雰囲気、学生の意欲を応援してくれる環境に惹かれて東北大学を選びました。例えば3年次には、数か月にわたって興味のある研究に専心できる基礎医学修練があります。その間私は学外の研究所で研究に励ませていただきました。一流の研究者に刺激を受けながら、その時できる自分の精一杯に挑戦することで、人として、学問に志す者として、一回り成長できたと感じています。大学では、高校とは異なる学びの世界が待っています。医学部では数々の試験がありますが、友人と議論し、時に教え教わりながらの日々はとても充実したものです。各々が豊かな個性を発揮する学風の中で、皆さんの意欲が大きな花を咲かせることを願っています。



医学科6年

夏井 康樹さん

【秋田県立秋田高等学校出身】

私は、世界的に著明な先生方と充実した設備のもとで、全国から集まる志の高い優秀な仲間と互いを磨き合いながら医学を学べることに惹かれ、東北大学を志望しました。実際、本学では講義や実習を通じて各分野の世界最先端の知識や技術を学ぶことができ、希望者は低学年から研究室に入り、3年次、6年次に海外へ留学することができます。私は寄宿舍で他学部の学生や留学生と共同生活し異文化に触れ、コミュニケーション能力を向上させることができました。この経験は今後医師として様々な人と関わる上で大きな糧になると思います。多様な選択肢に溢れ、挑戦する学生を牽引してくれる最高の環境で皆さんも学んでみませんか。

M e s s a g e

先輩からのメッセージ



東北大学病院

切替 日奈子さん

【令和4年3月卒業】

東北大学は「研究第一」という理念を掲げ、学生が学びたいことを追求できる環境が整っています。高校生の私は、研究ができる大学は東北大学だと確信し、本学を志望しました。在学中は1年次から研究室で学び、3年次の基礎修練では世界をリードする脳科学研究所、ノルウェー科学技術大学に留学させていただきました。充実した研究環境、熱意ある先生方、意欲的な同期に恵まれ、たくさんの「学びたい」を実現することができました。本学には「やりたい」の可能性が無限に広がっています。皆さんもぜひ自分の可能性にどんどん挑戦し、未来を切り開いていってください。一緒に東北大学で、医学とそれを超える研究ができる日を楽しみにしています。



東北大学病院

渡嘉敷 直之さん

【令和3年3月卒業】

「なぜ沖縄から遠く離れた東北に」と言われてきましたが、研究の世界に憧れていた高校生には「研究第一」の理念はとても魅力的でした。本学では研修室に配属されて研究を行う期間が国内随一の長さとなっており、世界中の研究機関への留学もサポートされています。自分自身も入学してすぐに研究室の扉を叩きましたが、快く迎え入れて頂き、ご指導いただいたことは今思えば最高の環境だったと思います。勿論研究だけでなく、東北の医療の要である大学病院で学ぶ臨床医学や、全国から集まる同期と切磋琢磨して過ごす大学生活も医師となる上での大事な要素でした。多くの選択肢にあふれたこの環境で、ぜひ素敵な大学生活を送ってみてはいかがでしょうか。

受験生向けWEBサイト



「VOICE」では入試情報や学生が参加できるオープンキャンパス等のイベント情報、在校生がインタビューをした教員のメッセージを紹介しています。また現役医学部生200名にきいた受験に関するアンケートを掲載しています。





医学部 保健学科

School of Health Sciences

看護学専攻
放射線技術科学専攻
検査技術科学専攻

最新の知見に基づく保健医療の
実践経験を通じ人々の健康と
社会を支えるヘルスサイエンスを
創造する人間性豊かな研究志向の
人材育成を目指します。



保健学科長
本間 経康
Homma, Noriyasu

◆教育理念

少子高齢社会の到来による社会状況や保健・医療を取り巻く環境の変化の中で、予防から健康管理までを一貫して考える総合医療が求められています。保健学科では、このような社会的要請に応えるために、人間性豊かで幅広い教養と確固たる倫理観を有し、かつ、科学的な知識と技術、そして冷静、緻密な総合判断力を備えた保健・医療専門職を育成します。また、人々の健康的な生活を支援するために、他の保健・医療等専門職と協働してチーム医療・チームケアを実践できる人材を育成します。

◆教育目標

リサーチマインドを備えたヘルスサイエンス（健康科学）を牽引する、高度専門職、教育者、研究者を育成する。

- ① 人命を尊重し、豊かな人間性を持ち実践力を備えた医療人を育成します。
- ② 人間としての生活の質(Quality of Life)の向上を大切にする医療人を育成します。
- ③ チーム医療を柱に、総合的に医療現場を支援する教育を行います。
- ④ 東北地方の地域性をも考慮した、地域医療をすすめる医療技術の教育を行います。
- ⑤ 医学系分野と有機的に連携しながら総合的な教育を行います。
- ⑥ 世界の人類に貢献しうる最先端の医療技術の教育を行います。

高度な医学知識・医療技術と豊かな人間性を兼ね備えたヘルスサイエンスの次世代リーダーを育成する

「すべての人に健康と福祉を」は、国連の持続可能な開発目標の1つです。医学・医療技術の進歩により、生活の質の捉え方など、保健・医療・福祉に関する概念も変化しています。また、医療の高度化に伴い、チーム医療の重要性も増しています。保健学科では、医療ニーズをかかえる人々やご家族を中心としたチームのあり方を探求する倫理観を涵養し、病と共に生きることや健やかな

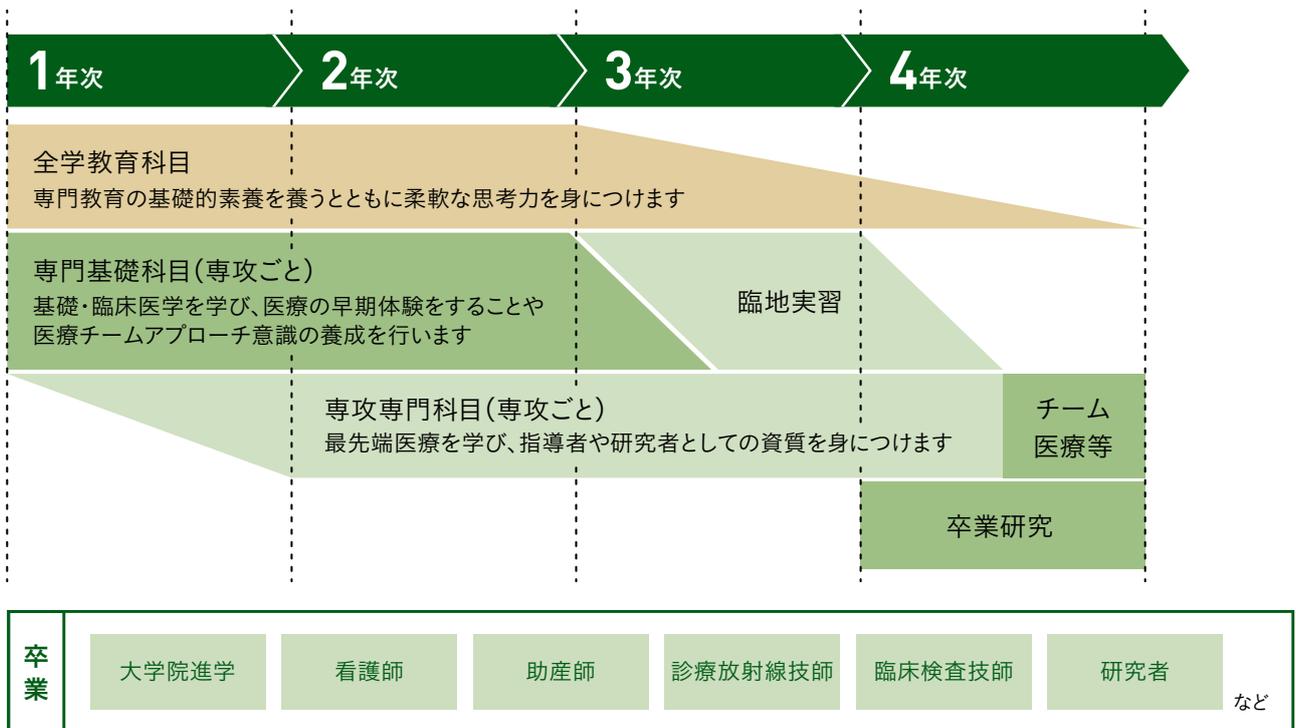
生活を送ることを支える最新の知識、保健・医療の諸問題の解決に欠かせない精緻な技術、新たな健康課題や健康危機に挑む柔軟な思考力・創造力・発信力を育成します。さらに、ヘルスサイエンスの発展を牽引し、人々の健康増進と生活の質の向上を通して豊かな社会の実現を志す次世代リーダーを育てます。

医学部保健学科のカリキュラム・ポリシー (抜粋)

- 1 幅広い教養を修得するための全学教育科目を学ぶとともに、専攻の専門の基礎となる科目による動機づけ、専門の知識や技術の習得、臨地実習を通じた応用力の向上をはかる。
- 2 ライフサイエンス、ヒューマンサイエンスを探究する姿勢を尊重し、授業・実習、特に卒業研究によって研究マインドを涵養し、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の実践力を備えた医療専門職業人・医療現場のリーダーとして活躍する能力を育成する。
- 3 学習成果の適正な評価と個別フィードバックを行い、学習者の内省・自己啓発と能力開発を促進する。

※全文は東北大学医学部ウェブサイトをご覧ください

カリキュラム (看護学専攻・放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻)



医学部保健学科のディプロマ・ポリシー

- 1 高度化、複雑化する医療技術に的確に対処しうる科学的かつ深い専門知識を有している。
- 2 科学的根拠に基づく看護学・保健学・臨床医学及び医療技術を実践し、他の保健・医療等専門職と協働してチーム医療・チームケアの一員として参加する能力を有している。
- 3 冷静、緻密な総合的判断の元に、優れた倫理観と豊かな人間性及び社会的使命感を持って保健・医療に貢献する能力を有している。

看護学専攻 Nursing

‘ケア’の本質を追究する看護学の学習を深めます

21世紀は‘ケア’の時代といわれています。では看護が担う‘ケア’の本質とは何でしょうか？看護は、人々が潜在する能力を最大限に発揮し、自らの生活を健康的な生活に整えていく過程を支援する活動です。たとえ、死の際にあっても健康的な生活が実現できるように支援することなのです。また、看護は病院、学校、職場、施設、日常の暮らしの場と人々の生活のあらゆる場で実施されています。そのため看護職には深い人間理解と高度な見識が必要となります。看護学は、これらを支える科学の分野です。



1年次

幅広い教養が身につく

幅広い教養を得るために全学教育科目を学ぶとともに、生命の尊厳を理解し、対象の人権擁護の基盤としての看護の哲学と倫理観を身につけます。学習成果の適正な評価とフィードバックによって、学生の内省・自己啓発と能力開発を促進します。

2年次

看護の基礎を学ぶ

看護の基礎となる科目の学習を通して、専門知識を習得します。看護専門職者として優れた倫理観と豊かな人間性及び社会的使命感を持って保健・医療に貢献する基本的態度を学びます。また、リーダーシップ及びメンバーシップの役割を理解し、自己に課せられた責任を果たす態度を学びます。さらに、科学としての看護学を探究する姿勢を身につけるために研究の基礎を学びます。

3年次

知識と技術の基盤を作る

対象の特性に合わせて身体・心理・社会的ニーズを判断し支援するうえでの必要な知識・技術・態度を専門領域ごとに学びます。看護に関する様々な問題を正しくとらえて解決するための基本的な能力を身につけます。特に3年次からは現場での臨地(病院)実習が始まります。これらを通して社会の変動に伴うヘルスニーズを見極め、対象や地域の特性に応じた看護の役割を理解し、継続看護を提供できる能力を身につけます。

4年次

科学的かつ深い専門知識の習得

高度化、複雑化する医療技術に的確に対処しうる科学的かつ深い専門知識を得ながら、科学的根拠に基づく看護を実践し、他の保健・医療等の専門職と協働してチーム医療・チームケアの一員として参加する能力を身につけます。そして、卒業研究によって研究マインドを育み、看護学の実践力を備えた医療専門職業人・医療現場のリーダーとして活躍できる能力を身につけます。さらに、看護職者として自己評価ができ、自ら学習を継続し専門職業人として生涯成長しつづけていくことを学びます。

放射線技術科学専攻 Radiological Technology

安全・正確・高精度な放射線技術へ 可能性は広がり続けます

放射線医療には画像診断、核医学、放射線治療の3つの領域があり、超音波・磁気・X線・放射性同位元素によって人体の内部を画像化し診断すること、疾患部を放射線によって治療することを行っています。放射線医療は安全で正確かつ高精度に施行されることが絶対条件であり、その基盤となる学問が放射線技術科学です。放射線技術科学は医学と放射線の基礎から医療機器の理論、診断画像の撮影および構築法、放射線治療および生物学、放射線計測法および管理など広範囲な学問領域からなります。



1年次

幅広い教養を習得し人間性を深める

1年生では主に幅広い教養を修得するための全学教育科目を学びます。これにより人間性を深め、将来医療、医学の現場で活躍するための土台を構築します。加えて専門教育への橋渡しとしての専門基礎科目も学びます。これによりシームレスに基礎学問から応用学問の習得を進めることができます。

2年次

一般教養から専門への橋渡し

診療放射線技師が扱う放射線などは物理学の法則に基づいています。また、放射線機器を知るためには工学の知識が必要になります。この放射線機器を扱い、医療に携わるためには、医学・生物学の知識も必要です。この観点から、2年次では理学、工学、医学の基礎を学び、3年次以降のより専門的な教育へスムーズに橋渡しを行います。

3年次

幅広い専門知識とその実践を学ぶ

3年生では放射線技術学の専門知識をさらに深めます。後期からは、数名のグループに分かれ、東北大学病院や近隣病院で臨地（病院）実習を行います。臨地実習を通して、講義や実験等で修得した基礎知識を医療の現場でどのように適用し応用すべきかを学ぶとともに、最先端の診療技術や患者さんの接遇について実体験します。最先端機器を実際の目で見る貴重な機会であるとともに、診療放射線技師の社会的役割を認知し、患者さんや医師および他のメディカルスタッフ等との関わりに関しても間近に接することができる良い機会です。

4年次

研究マインドを身につける

4年生の前期は、3年生に引き続き病院実習が行われます。それと並行して、7分野に分かれて卒業研究が始まります。卒業研究では、研究の一端に触れることで研究マインドを身につけます。将来、放射線技術科学の指導者や教育者並びに研究者として、当分野を支え得る質の高いすぐれた人材の育成を目指します。例年、11月下旬頃に卒業研究発表会が開かれ、研究成果を皆の前で発表し、活発な質疑応答が行われます。研究の一端に触れることはもちろん、発表の技術を身につけることも卒業研究の重要な目標の1つです。

検査技術科学専攻 Medical Technology

病気の原因・治療方法を判断するための 先端技術を学びます

臨床検査全般に関する学問領域です。現在の医療において、検査は診断・治療の指針となる重要なデータを提供しています。生体成分の質的・量的変動を捉える化学検査、体内に侵入した病原菌・ウィルスを特定する病原検査、組織や細胞の形態的变化を捉える病理検査、生体の活動を直接捉える生理検査や画像検査、輸血・移植領域で欠かせない免疫学的検査などがあり、これら検査法の開発・応用や病態との関連を解析するなどの研究を行います。



1年次

専門教育に向けた基盤づくり

人間性豊かで幅広い教養と優れた倫理観、深い専門知識を有する臨床検査技師の育成へ向けた学習の第一歩を踏み出します。特に、東北大学共通の全学教育を学ぶことで幅広い教養と柔軟な思考力を身につけ、専門教育の早期開始により専門知識修得へ向けた動機付けを行います。

2年次

週の大半が専門教育科目に

専門教育科目の授業が本格化し、生活の主体は星陵キャンパスに移ります。1年次に学習した全学教育科目の知識をスタートラインとして、より専門的な新しい知識と出会う毎日です。実習科目も開始され、「検査」を体感しながら技術を身につけ、知識を整理してゆきます。臨地(病院)実習に行くための基礎作りの学年です。また、検査の確かな腕を身につけるため、そして講義で学んだことを実際に体験して理解を深めるために、多くの実習があります。3年次の臨地実習、4年次の卒業研究に向けて実験の進め方や結果に対して論理的に考察することを身につけます。

3年次

専門教育科目の総仕上げ

3年次は、学内実習が中心の前半と臨地実習が中心の後半に大きく分けられます。前半の半年間は午前には講義、午後に実習を行い、後半の臨地実習に向けて知識と技術をまとめます。そして後半が臨床の現場を体験する臨地実習になります。この実習を通じて臨床検査技師という職種が病院という組織の中で果たしている役割を学びます。そして、自分が大学で学んできた知識と技術がどのような意味を持ち、どのようなことに役立つのかを肌で感じるすることができます。このような経験を通して、卒業後の自分の進路を考えていくことになります。

4年次

充実した研究活動ときめ細かな国家試験対策

卒業研究では、4月～11月まで8か月間にわたり、専攻内の各分野に加え、大学病院・医学科・加齢研などの様々な研究室に配属され、充実した研究生活を送ります。卒業研究で研究の面白さに目覚め、大学院博士前期課程(修士)に進学する学生さんも数多くおられます。また、並行して、学内で数回にわたり臨地実習筆記試験・国家試験模擬試験を行うことに加え、試験直前には国家試験問題講習会を行い、きめ細かな国家試験対策を行います。

V o i c e

学生の声



看護学専攻4年

堀内 真歩さん

【北海道札幌西高等学校出身】

4年間で看護師だけでなく助産師も目指すことができる環境があるため入学したいと思いました。実習では実際に患者さんと接する機会が多くあり、その中で看護の奥深さを学ぶことができます。東北大学の看護学専攻では、学ぶ意識が高く、経験を大切にしている素敵な仲間にも恵まれると思います。充実した大学生活を送り、広い視野を持って幅広く活躍できる看護職と一緒に目指してみませんか。

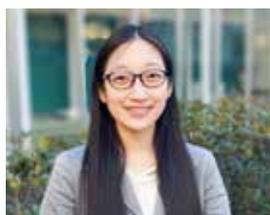


看護学専攻4年

渡邊 郁香さん

【宮城県仙台第三高等学校出身】

4年間で助産師が目標になることや国際色豊かな大学であることに魅力を感じ入学を決めました。座学や演習、実習を通して、疾患だけではなく生活背景や家族関係など、患者さん個人を理解することの大切さを学んでいます。一人ひとりに寄り添った看護の提供と海外の医療への貢献が私の大きな目標です。ぜひオープンキャンパスなどに参加して大学の雰囲気を感じていただけたらと思います。



放射線技術科学専攻4年

四釜 礼菜さん

【聖ドミニコ学院高等学校出身】

診療放射線技師という職業に興味を持ち、本専攻を志望しました。東北大学では研究の第一線で活躍する先生方や臨床で勤務されている技師のみならず、臨床現場や最新研究のお話を伺うことができます。在学中には診療放射線技師に必要な知識だけでなく、実験や研究を通して理解を深める時間もあります。みなさんも研究第一の東北大学で放射線を深く学んでみませんか。



放射線技術科学専攻4年

甲賀 聖也さん

【福島県立白河高等学校出身】

私は、医学系だけでなく、工学系など幅広い分野について学べる点に惹かれ入学しました。専門的な知識を深く学べたのはもちろん、演習や実験を通してデータの処理力や思考力なども養うことができました。病院実習では診断や治療の奥深さを実感すると共に、医療人としての考え方も身に付けることができました。ぜひ皆さんもこの充実した環境で、様々な魅力を感じてみませんか。



検査技術科学専攻4年

瀬川 諒さん

【岩手県立花巻北高等学校出身】

臨床検査技師の養成だけでなく、研究にも力を入れているこの専攻はとても魅力的で、入学後は臨床現場で必要な技師としての知識から基礎医学まで幅広く学ぶことができました。今後は大学院に進学し、分子医化学分野で研究に取り組みたいと考えています。一口に医療職といっても色々な職種があり、患者さんとの関わり方は様々です。自分の関心を最大限活かせる分野を探してみてください。



検査技術科学専攻4年

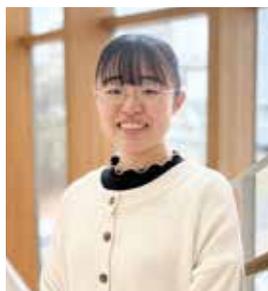
大山 采佳さん

【宮城県仙台南高等学校出身】

検査技術科学専攻では、3年後期に大学病院と市中病院での4ヶ月間の臨地実習があります。実習では、学んだ知識が臨床でどう活かされるか学べたと共に、現場で働く技師さんの生の声を聞き、自分の理想の技師像を確立することができました。実際に、私もある分野で「この人のような技師になりたい」と思える方に出会うことができました。是非、オープンキャンパスに足を運んでみてください。

Message

先輩からのメッセージ



北里大学病院

丹治 明日香さん

【令和6年3月卒業】

看護学専攻では1・2年次に講義を通して看護の基礎を学び、3年次に実習を通して本物の看護に触れ、4年次に看護研究に取り組みます。私は4年間を通して、学びはもちろんのこと、たくさんの価値観・看護観に触れることができました。特に実習では「看護とは何か」を考えさせられ、自分の看護観の根本を築くことができました。4年間の経験を通して、現在は専門看護師と看護管理者を志しています。入学当初は全く考えていなかった道でしたが、4年間を通して自分の本当にやりたいことを見つけることができました。本専攻で看護を学べたこと、そしてたくさんの仲間と出会えたことは私にとって大きな財産となっています。皆さんも本専攻で、看護の道の第一歩を踏み出してみませんか？



東北大学
大学院医学系研究科
保健学専攻 博士前期課程1年

宍戸 智子さん

【令和6年3月卒業】

看護学専攻では、幅広く深い知識の学びと実習、双方向の講義により、仲間と互いに高め合いながら質の高い看護力と人間性を培うことができます。私は本専攻での学びを活かし、地域で働く保健師を目指しています。東北大学では、保健師国家試験の受験資格を得るために大学院への進学が必要です。そのため、学部での4年間で看護に向き合い、深く学んだ確かな基盤を活かし、大学院の2年間で保健師の知識と技術、多角的な視点や思考力を得られることも魅力のひとつです。本専攻での実習や研究を通して得た貴重な経験と高い目標を持った仲間との出会いは、進路選択や就職・進学後等、自身の将来の大きな糧となります。みなさんも本専攻で自分自身の将来や看護を見つめてみませんか。



東北大学
大学院医学系研究科
医科学専攻 修士課程1年

佐藤 滉晟さん

【令和6年3月卒業】

放射線技術科学専攻では、レントゲン撮影、CT、MRI、放射線治療などの放射線に特化した分野に加え、人体の解剖や読影の補助などの医学的な基礎知識についても学べます。3年次後期からの実習では、座学での知識を分野の枠にとらわれずに多角的に捉える機会が増えます。座学では正直受け身になって聞いていただけの分野でも、実習に臨むと“気付き”が増えるので体系的な理解を楽しむことができます。尊敬できる先生方も数多く、診療放射線技師としての素養を高める環境として秀でていると思います。一方で、大学院に進学し、研究に専念しながら医療関連企業への就職を考えている人もいます。将来の進路が多岐に渡るため、とにかく医療に携わりたいという方にもおすすめです。



自治医科大学附属病院

樋口 優奈さん

【令和6年3月卒業】

検査技術科学専攻では、1・2年次に臨床検査の基礎や専門知識を幅広く学び学内実習で手技を身につけ、3年次後期に病院実習を行います。病院実習ではこれまでの知識が深まるのはもちろん、教科書からは学ぶことのできない臨床検査技師さん達の検査に対する姿勢や責任感、熱い思いにも触れることができます。私は臨床検査技師に憧れて本専攻に入学しましたが、実習を通して憧れから目標に変わりました。4年次には各々が興味のある分野で卒業研究に取り組みます。最先端の医学研究に関わりながらその面白さや奥深さを実感し、研究に必要な知識や技術を習得することもできます。臨床検査技師としての姿と研究者としての姿をどちらも経験でき、進路を選択できることが本専攻の強みだと考えます。

進路 Career Path

就職だけでなく、大学院に進み、研究者への道を選ぶ卒業生も多くいます。

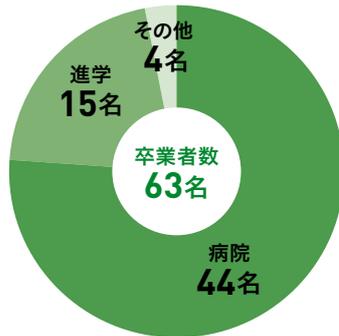
看護学専攻

在籍者数 (令和6年4月1日現在)

289名(男23 / 女266)

学年	男女別	計
1年	男6 / 女66	72
2年	男8 / 女67	75
3年	男6 / 女64	70
4年	男3 / 女69	72

進路別割合 (令和6年4月1日現在)



主な就職先

- 宮城県 東北大学病院
- 宮城県 仙台厚生病院
- 東京都 東京大学医学部附属病院
- 東京都 聖路加国際病院
- 東京都 国立成育医療研究センター など

主な進学先

- 宮城県 東北大学大学院医学系研究科 など

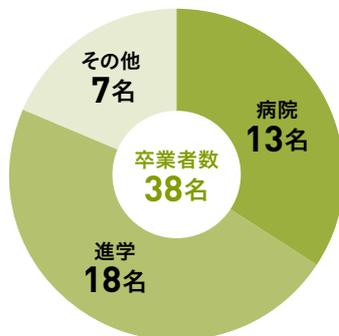
放射線技術科学専攻

在籍者数 (令和6年4月1日現在)

157名(男80 / 女77)

学年	男女別	計
1年	男20 / 女19	39
2年	男20 / 女20	40
3年	男19 / 女20	39
4年	男21 / 女18	39

進路別割合 (令和6年4月1日現在)



主な就職先

- 宮城県 東北大学病院
- 岩手県 岩手医科大学附属病院
- 東京都 慶應義塾大学病院
- 栃木県 キャノンメディカルシステムズ(株)
- 神奈川県 総合健診センターヘルチェック など

主な進学先

- 宮城県 東北大学大学院医学系研究科

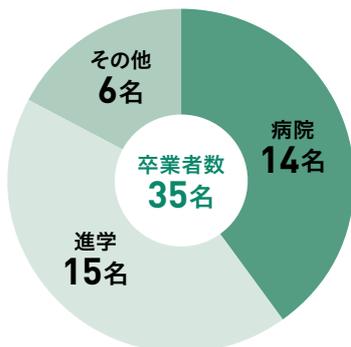
検査技術科学専攻

在籍者数 (令和6年4月1日現在)

156名(男44 / 女112)

学年	男女別	計
1年	男13 / 女27	40
2年	男13 / 女28	41
3年	男11 / 女27	38
4年	男7 / 女30	37

進路別割合 (令和6年4月1日現在)



主な就職先

- 宮城県 東北大学病院
- 宮城県 宮城県対がん協会
- 栃木県 自治医科大学附属病院
- 東京都 順天堂大学医学部附属順天堂医院
- 岩手県 岩手県警察 など

主な進学先

- 宮城県 東北大学大学院医学系研究科 など

クラブ・サークル活動 Club and Circle activity

東北大学全体のクラブ・サークルとは別に、医学部独特のクラブ・サークルがあります。

医学部の学生は実習時間が多く、毎日十分な練習時間がとれないことから、医学部だけのサークルに入る学生が多いようです。このようなサークルは各医学部・医科大学にあり、特に体育系サークルでは、東日本の大学を集めた専用の大会(東日本医科学生総合体育大会)があります。



体育系サークル

- 陸上競技部
- 水泳部
- ラグビー部
- サッカー部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- バレーボール部
- 準硬式野球部
- 軟式庭球部
- 硬式庭球部
- 卓球部
- バドミントン部
- 柔道部
- 剣道部
- 弓道部
- スキー部
- ヨット部
- 漕艇部
- ワンドルング部
- ゴルフ部
- フットサル部
- ビリヤードサークルSCRATCH
- ハンドボール部
- バーベルクラブ
- スケート部

文化系サークル

- 星陵アンサンブル
- 保健部セツルメント
- 東洋医学研究会
- 写真部
- 良陵新聞部
- メディカルインターネットサークル
- 軽音楽部
- 星陵混声合唱団
- 救命救急サークルRet's
- 鉄道愛好会
- 医学祭実行委員会
- 茶道部
- 臨床推論サークルTeam COOL
- バイク部
- 国際交流サークル I Health
- 東北大学USMLE勉強会
- 囲碁将棋部
- 学生会運営委員会

クラブ・サークル
活動についての
詳細はこちらから





附属図書館医学分館

約10万冊の図書、約1万5千タイトルの雑誌を所蔵し、医学系研究科・医学部、歯学部、および東北大学病院などに所属する学生・教職員を対象に、医学関連の専門図書館としての役割を担っています。また、電子ジャーナルや電子ブックも充実しており、医中誌webやPubMed、メディカルオンラインなど幅広くアクセスすることができます。2020年に全面的な改修工事を行い、感染対策の施された個別ブースの学習スペースや、グループ学習室が充実しています。

クリニカル・スキルラボ

クリニカル・スキルラボでは、シミュレーターなどを使用して実際の医療現場を模した疑似環境を提供し、医学部生・医師・看護師等の臨床技能教育を安全かつ効果的に行うことができます。臨床現場を反復して再現でき、臨床技能習得のレベルを上げるとともに、学習へのモチベーションを高める効果もあり、教育的有効性は非常に高いことが知られています。また本ラボでは、実技教育を行うだけでなく、ハーフミラーを設置し医療面接でのコミュニケーション能力向上に特化した、医療面接室なども用意しています。



星陵会館

2015年医学部開設百周年記念ホールの完成に合わせて、隣接する学生・教職員の福祉会館である星陵会館もリニューアルしました。この中には書籍も取り扱う売店や食堂が出店しています。この施設内にはピロティや学生利用が可能なスペースがあり、学生同士のコミュニケーションの場ともなっています。2階には開放式のピロティや大小の会議室があり、学生企画のイベントに利用することができます。

6号館グループ学習室

6号館は2014年に隣の東北メディカル・メガバンク棟と合わせ完成した新しい建物です。この建物の1階には10人程度が収容できるグループ学習室が16部屋用意されています。授業以外では、国家試験や定期試験などの試験対策や医学祭の準備などをグループ内で行う際によく利用されています。



修学費と奨学制度【医学科・保健学科】

諸費用 学部・大学院の諸費用は下記のとおりです。

諸費用(令和5年度)	検定料	入学金	授業料
学部学生	17,000円	282,000円	535,800円 /年
大学院学生	30,000円	282,000円	535,800円 /年
研究生(学部・大学院)	9,800円	84,600円	29,700円 /月
科目等履修生	9,800円	28,200円	14,800円 /単位
特別聴講学生	—円	—円	14,800円 /単位
特別研究学生	—円	—円	29,700円 /月

※学部学生及び大学院学生の授業料は、年額です。
 ※科目等履修生及び特別聴講学生の授業料は、1単位に相当する授業についての額です。
 ※特別研究学生の授業料は、月額です。

日本学生支援機構等による奨学金

学業成績及び家計状況などの書類審査を経て候補者が推薦されたのち、奨学生としての採用が決まります。

日本学生支援機構による奨学金(第一種の場合)

学部		大学院	
自宅通学	自宅外通学	博士前期課程	博士後期課程
45,000円	51,000円	50,000円または88,000円	80,000円または122,000円

日本学生支援機構による奨学金の他に、都道府県等の地方公共団体、民間事業団体、個人の奨学財団等による奨学生の募集があります。学部等の推薦を受けて申し込み、採用の場合は貸与を受けることができます。(本人が申請する場合があります。)

奨学生募集地方公共団体(令和5年度)

青森県、八戸市、岩手県、宮古市、奥州市、山形県、福島県、いわき市、新潟県、千葉県、茨城県、栃木県、滋賀県、静岡県、三重県、広島県、長崎県など。

奨学生募集民間財団等(令和5年度)

戸部真紀財団、ビジョン奨学財団、川野小児医学奨学財団、社の邦育英会、みずほ育英会、亀井記念財団、G-7奨学財団、尚志社、ナガワひまわり財団など。

授業料免除・徴収猶予・分納

経済的な理由により授業料を納付することが困難であり学業成績が優秀な者は、選考により免除(全額又は半額)されることがあります。また、期限までに納付することが困難な場合には、徴収猶予・月割分納の制度もあります。

授業料・入学金免除状況(令和5年度)(人) ※東日本大震災に伴う経済支援を含む

	授業料免除						入学金免除			
	前期分			後期分			学部	大学院		計
	学部	大学院	計	学部	大学院	計		前期	後期	
出願者数	96	198	294	87	188	275	17	19	7	43
全額免除者数	56	154	210	50	155	205	6	5	3	14
2/3免除者数	15	0	15	14	0	14	4	0	0	4
半額免除者数	5	35	40	3	26	29	0	0	0	0
1/3免除者数	7	0	7	10	0	10	3	0	0	3
不許可者数	13	9	22	10	7	17	4	14	4	22

褒賞制度

賞の名称	対象学生	令和4年度人数(人)
医学部学生奨学賞	医学科学生	11
海外留学奨学援助制度	医学科3年、6年	7

入試情報【医学科・保健学科】

入学試験実施状況(令和6年度実績)

一般選抜(前期日程)	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	77	48	25	25
志願者	289	139	58	53
第1段階合格	270	139	58	53
受験者	242	121	46	44
合格者	81	51	26	26
入学者	79	48	25	26

AO入試Ⅱ期	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	15	12	4	4
志願者	151	44	29	21
第1次選考合格	55	21	8	7
受験者	55	21	8	7
合格者	18	14	4	4
入学者	18	14	4	4

AO入試Ⅲ期	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	12	10	8	8
志願者	97	27	19	30
第1次選考合格	36	15	14	15
受験者	36	15	14	15
合格者	13	10	10	10
入学者	13	10	10	10

地域枠入試	医学科	
	宮城県枠	岩手県枠
募集人員	7	2
志願者	26	6
第1次選考合格	17	3
受験者	17	3
合格者	7	2
入学者	7	2

国際バカロレア入試	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	3*	—	—	—
志願者	2	—	—	—
第1次選考合格	0	—	—	—
受験者	0	—	—	—
合格者	0	—	—	—
入学者	0	—	—	—

帰国生徒入試	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	3*	—	—	—
志願者	5	—	—	—
第1次選考合格	0	—	—	—
受験者	0	—	—	—
合格者	0	—	—	—
入学者	0	—	—	—

私費外国人留学生入試	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	3*	若干人	若干人	若干人
志願者	5	0	0	0
受験者	3	0	0	0
合格者	1	0	0	0
入学者	1	0	0	0

*合わせて3名

募集人員	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
一般選抜(前期日程)	75	48	25	25
AO入試Ⅱ期	15	12	4	4
AO入試Ⅲ期	12	10	8	8
国際バカロレア入試	合わせて3	—	—	—
帰国生徒入試		—	—	—
私費外国人留学生入試		若干人	若干人	若干人
計	105	70	37	37

試験科目	医学科	保健学科
	一般選抜(前期日程)	大学入学共通テスト 数学・理科・ 外国語・面接 (小作文含む)
AO入試Ⅱ期	筆記試験・面接	筆記試験・面接
AO入試Ⅲ期	大学入学共通テスト 筆記試験・面接	大学入学共通テスト 筆記試験・面接
国際バカロレア入試	筆記試験・面接	—
帰国生徒入試	筆記試験・面接	—
私費外国人留学生入試	面接	学力試験・面接 (看護学専攻は 面接のみ)

出身県別入学者数(令和6年度実績)

地区	医学科	保健学科		
		看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
北海道	3	2	1	0
青森	4	4	3	4
岩手	4	3	6	2
宮城	16	21	14	11
秋田	1	5	0	3
山形	2	2	3	2
福島	5	6	3	11
関東	57	14	7	3
中部	12	11	1	2
近畿	6	2	0	1
中国	2	1	0	0
四国	3	1	0	1
九州・沖縄	4	0	1	0
その他・ 外国の学校等	1	0	0	0
計	120	72	39	40

今後の入試の変更点

詳しくは東北大学入試センターのウェブサイト
(<https://www.tnc.tohoku.ac.jp>)をご確認ください。





東北大学医学部 医学科

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

TEL.022-717-8009 【教務課学部教務係】

FAX.022-717-8021

E-mail: med-kyom@grp.tohoku.ac.jp

東北大学医学部 保健学科

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

TEL.022-717-7905 【教務課保健学科教務係】

FAX.022-717-8021

E-mail: cms-kyom@grp.tohoku.ac.jp

<https://www.med.tohoku.ac.jp/>

■ Facebook

<https://www.facebook.com/Tohoku.University.School.of.Medicine>

■ X

https://twitter.com/tohoku_univ_med

■ YouTube

<https://www.youtube.com/c/東北大学大学院医学系研究科>



